

はじめに

仙台都市圏の交通は現状でも様々な問題を抱えていますが、近年の急速な郊外化と自動車利用の増加は、将来にわたって極めて深刻な都市問題を引き起こしかねません。交通は、我々の生活と生産活動にとって極めて重要な役割を果たしています。その利便性を確保し、より良いものとしていくためには、長期的かつ総合的な視点からの政策立案と、その政策を実現していくための総合的な計画が不可欠です。

仙台都市圏総合都市交通協議会（以下「協議会」という。）はこの問題意識のもとに設立され、平成14年度に実施した第4回仙台都市圏パーソントリップ調査の収集データと様々な都市圏データを用いて、各種の現状分析と将来需要予測などの検討を行ってまいりました。その中では、高齢化そして人口減少などがもたらす社会的状況を長期的に見据えた上で、将来の都市構造や概ね今後20年間にわたる都市交通の動向を検討しています。この提言書はこのような協議会での検討をもとに、その過程において県民・市民、関係機関の方々からご意見をいただきながらまとめたものです。

仙台都市圏の交通、さらには都市活動全般を改善するためには、仙台都市圏の全ての関係者の協力と行動が必要です。このことから、この提言書は、協議会に属する国及び地方の行政機関、交通事業者などの交通サービス提供者並びに仙台都市圏で様々な立場から交通行動を行っている交通利用者の全ての方に対する提言となっています。

この提言書が、県民・市民、関係機関の多くの方々によく読まれ、また、その趣旨をご理解いただくことにより、仙台都市圏がより暮らしやすく「楽しく・優しく・美しい」魅力的な都市圏となり、一人でも多くの人々の笑顔につながることを強く期待するものです。

平成17年12月 仙台都市圏総合都市交通協議会

